

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題5

【戦略的なシティ・プロモーションの推進】

計 画	めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間で念頭に設定＞
	歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち
	現状（課題設定の根拠となる現状・データ）
	<p>【平成27年度 区民モニター】※＜>は26年度区民モニター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区役所が行う歴史的・文化的資産の情報発信が十分にできていると感じる区民の割合 63.4%<66.8%> ・天王寺公園周辺ならびに区内への来訪者数が増えたと感じる区民の割合 63.5% <p>【平成25年度 区民モニター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内にある歴史的・文化的施設やイベントなどの情報を発信し、多くの方に天王寺区を訪れていただきにぎわいのあるまちづくりをめざす方向性に賛同する区民の割合 86.6% ・区民の持つ天王寺区のイメージ 「神社仏閣が多い街」93.5% 「歴史のある街」91.9% 「文教都市(学校が多い街)」86.2% ・区民が今後PRに力を入れた方が良いと思うイメージ 「神社仏閣が多い街」20.3% 「歴史のある街」18.8% 「文教都市(学校が多い街)」10.9% <p>【平成26年度「あなたの声をつなげ隊」による意見聴取】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天王寺区の今後の観光・集客の具体策へのご意見 区内観光マップの作成 168件(21%) 区内観光スポット・名所の案内板の設置 164件(21%) ホームページ・フェイスブック等での区内観光案内 155件(19%) <p>※(%)はいただいたご意見数(計800件)に対する割合</p>
	要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞
<ul style="list-style-type: none"> ・区民の持つ天王寺区のイメージと、今後PRに力を入れた方が良いと思うイメージとが一致しており、さらなるPRが求められている。 ・区内には、約200もの社寺や動物園、美術館など多くの歴史的・文化的資産が集積し、様々な伝統行事等が開催され、また、「天王寺 真田幸村博」も盛況のうち終了したものの、区役所が行う情報発信が十分だと感じる割合は6割にとどまり、情報の効果的な発信が不十分と考えられる。 ・「天王寺 真田幸村博」(平成26・27年度)の終了後も、地域住民・地域団体・企業等によるイベントの実施など地域の主体的なプロモーションが着実に進捗しており、こうした取り組みを区としてしっかり支援していく必要がある。 	
課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞	
区内の歴史的・文化的資産の効果的な情報発信による天王寺区のまちのブランディングの強化	

自 己 評 価	戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

めざす成果及び戦略 5-1 【天王寺のまちのブランド力の強化】

計画	めざす状態<概ね3~5年を念頭に設定> 天王寺区の魅力発信・観光振興が十分にできている状態	戦略<中期的な取組の方向性> 地域住民・地域団体・企業等が主体的に行う天王寺区の魅力発信につながる取組を支援し、天王寺区のブランディングの一層の強化に取り組む。		
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・天王寺区の魅力発信・観光振興ができていると感じる区民の割合 平成30年度までに 70%以上			
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体
戦略の進捗状況		a:順調 b:順調でない		今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須

具体的取組5-1-1 【天王寺区魅力発信・にぎわいづくり事業】★

27決算額 32,703千円 28予算額 1,696千円 29予算算定額 1,384千円

計画	取組内容 「歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち」を実現するため、地域住民・地域団体・企業等が主体的に行う天王寺区の魅力発信につながる取組について、区が有する広報媒体等を活用して情報発信するなどの支援を行う。 ・天王寺区歴史文化を活かした地域主体のイベントなどの取組への支援 適時 ・真田街道ガイドと真田氏ゆかりの地スタンプラリーへの参加 ・吹奏楽フェスティバルの開催 1回 ・上町台地周遊マップ(28年度版)の増刷・配布 10,000部	業績目標(中間アウトカム) ・天王寺区の魅力発信に主体的に取り組む団体等のうち、区による支援が行われていると感じる割合 70% 【撤退基準】 50%未満の場合は、事業手法を再構築する。
	前年度までの実績 平成28年度 ・イメージポスターの作成・配布 ・上町台地周遊マップ(28年度版)の作成・配布 10,000部 平成27年度 ・天王寺 真田幸村博の開催 2回 ・真田幸村回遊ロードサインの設置(19基) ・真田丸顕彰碑の設置(1基) ・天王寺ええとこ発見真田幸村ウォークラリーの実施 3コース ・上町台地周遊マップの作成・配布 10,000部 平成26年度 ・天王寺 真田幸村博の開催 2回	
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成 戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成 戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)